

まちの話題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。



料理ってライブ！

うえやまとちマンガクッキングイン北九州



▲8月に発売された133巻。日本で発売されている作品で、同一タイトルで刊行されている単行本としては、現在3番目に多い巻数の「クッキングパパ」

▲ファンの前で手際よく調理実演するうえやまとちさん

福津市在住の漫画家うえやまとちさんが、漫画連載30周年を迎えました。これを機に5月から7月にかけて、北九州市漫画ミュージアムで特別展が開催され、調理実演などがありました。

30年という長期間にわたり週刊誌で連載を続けている漫画は「クッキングパパ」。男が作る家庭料理のおもしろさと、温かい人のつながりを描いた漫画で、テレビアニメ化やドラマ化もされた人気作品です。

調理実演では、漫画に出ていた料理を実際に作りながら「料理ってライブです。先に料理を考え、それから漫画をかきます。料理の種類によって、よく似合うストーリーやシチュエーションがあるからです」と苦労話などを交えながら、楽しく語るうえやまとちさん。会場に集まった50人以上のファンも、トークに笑い、出来上がった料理の試食に大満足していました。

福津市ってこんなところだよ

松本市から使節団がやってきました

8月4日から7日にかけて、長野県松本市から小学生12人の使節団が来訪しました。この使節団はお互いの交流を深めようと、行っている取り組みです。1月には福津

市や宗像市の小学生が松本市を訪問しており、三市の使節団の再会の場になりました。「この地域の良いところを知り、松本に帰って広めたい」と語った使節団は、世界遺産登録を進める新原・奴山古墳群を見学するなど、この地域が持つ自然や歴史に触れていました。次に訪問した宗像市では、地引き網や釣り、磯遊びなど、玄海灘の夏の海を満喫していました。海に面していない松本市の子どもたちにとって、貴重な夏休みの体験になったようです。



▲宮地嶽神社大注連縄の前で記念写真

夜空が花火に彩られる

福津市納涼花火大会



▲3000発の花火が打ち上がりました

毎年恒例の福津市納涼花火大会が、8月9日に行われました。花火の見える海岸では日暮れ前からたくさんの方が集まり、食事や音楽を楽しみながら、打ち上がるのを待ち構えています。花火が打ち上がり始めると、美しい花火に釘づけになり、ひととき大きな花火が打ち上がると、周囲から歓声が上がっています。ドンツという音と鮮やかな光が降り注ぐ海岸では、たくさんの方が空を見上げて、夏の夜を楽しんでいました。

おじいちゃんおばあちゃん「こんにちは」

小学生1日民生委員体験



▲おばあちゃんは毎日を楽しむ秘訣を語ってくれました

市内の小学生が、7月24日に1日民生委員としてひとり暮らしの高齢者の家を訪問しました。参加した小学生は、普段の生活で困っていることや趣味など、自分たちで考えた質問を交えて、会話をはずませています。帰るときには「また会いましょう」と小学生たちが声を揃えてあいさつし、始めから終わりまで笑顔の絶えない訪問活動でした。

9月21日(月・祝)は敬老の日

100歳以上の長寿者を紹介します(敬称略)

氏名	年齢(歳)	行政区
友野 千代	109	緑町区
奥門 ユキ	109	若木台6区
青野 キクコ	106	東福岡4区
大坪 春子	104	東福岡5区
藤川 シマエ	104	的岡区
櫻井 フクエ	103	畦町区
高橋 カツエ	103	光陽台2区
西田 園子	103	東福岡9区
田畑 タツコ	102	通り堂区
山本 富美枝	102	両谷区
田代 ナミ子	102	天神町区
中村 アサコ	102	本木区
花田 とし	102	勝浦松原区
松尾 シヅカ	102	東福岡3区
溝口 ハツコ	102	緑町区
松尾 勝美	102	光陽台1区
井手 徹	102	三角区
古賀 波子	101	津丸区
江熊 クラ子	101	若木台2区
安部 津也	101	在自区
松尾 清数	101	宮司2区
梅田 壽子	101	若木台2区
久保田 キク	100	東町1区
鉄崎 カル子	100	若木台4区
藤原 シズ子	100	東福岡5区
吉田 千代	100	昭和1区
木下 フサ子	100	津丸区
渡邊 治子	100	五反田区
池浦 ツギ	100	両谷区
廣渡 秀太	100	南町区

※年齢の基準日は、平成28年3月31日です(8月7日現在)

夏の思い出の1ページ

福津の夏学校



▲古代の人になったつもりで土笛づくり

夏休みの宿題の定番である自由研究をテーマに、「福津の夏学校」が7月25日に開かれました。小学生から大人まで約100人が集まり、福津の自然や伝統文化を学びました。研究は7つのテーマが準備され、塩づくりや貝殻アートなどを体験しました。参加した小学生は「楽しかった」と笑顔で語り、夏休みの思い出をつくっていました。